



**大阪を代表する歴史的洋風建築「旧桜宮公会堂」を再生  
カフェ・レストランの開業日4月15日に決定  
“なにわ野菜”など地産地消型のフレンチを提供、カフェ料理も充実**

ウェディングプロデュース・レストラン運営の(株)ノバレーゼ(本社:東京都中央区、浅田剛治社長、東証一部、資本金:6億円)は、婚礼施設兼カフェ・レストランへと工事中の大阪を代表する歴史的洋風建築「旧桜宮公会堂」のグランドオープン日を、2013年4月15日(月)に決定しました。

カフェ・レストランの開業に先駆け、婚礼施設としては4月6日(土)に初挙式を行います。

施設は土日祝日を昼夜各1組限定の婚礼施設として運営するため、カフェ・レストランの営業は平日(11:00~17:00)に行い、旧桜宮公会堂内の披露宴会場を使います。

サンドウィッチなどの軽食(カフェ料理)、スイーツ、ドリンクから、フレンチのコース2種(¥3500、¥5000)を提供します。

フランス料理では、無農薬や減農薬栽培、有機農法で育てた、農家こだわりの大阪産の野菜(昨今注目を集める「なにわの伝統野菜」と「なにわの特産品」も含む)や大阪湾から直送する鮮魚などを使い、地産地消型のフレンチをカジュアルに提供します。

店内は217㎡、120席、天井高5mのゆったりとした空間で、過去の改修工事で覆い隠されていた古典様式の美しい装飾天井を復活させます。格調高い設えなど約80年前の建築当時の荘厳な空間と現代のデザイン感覚を取り入れた“モダン・クラシック”な雰囲気の中、食事やカフェをお楽しみいただけます。

開業月の4月は施設近隣の造幣局が「桜の通り抜け」で賑わうことから、「桜フェア」と題し、桜の花と葉の香りを移したプリンや、桜のチップやウッドで香りをつけじっくりとスモークローストした特選牛フィレ肉を提供する料理フェアを実施します。

**旧桜宮公会堂の報道各位向け内覧会は3月29日(金)の午前からで予定しています。詳細は改めてご案内させていただきます。**



上左)  
外観イメージ

上右)  
店内イメージ

下左)  
「桜フェア」で提供する「特選牛フィレ肉のスモークロースト 春野菜の世界」

下右)  
同提供の「幸せの桜プリン」





NOVARESE

## 主なメニュー

カテゴリ	料理名	税込料金
フレンチ	大阪もんの地産地消コース(前菜2品、魚・肉料理、デザート 計5品)	¥3500
	シェフスペシャルコース(フォワグラ、オマール海老、特選牛フィレ肉の桜スモークロースト、デザート2品を含む計8品)	¥5000
カフェ料理	ローストビーフ&オニオン・トマト・バジルサンド 自家製ホースラディッシュソース	¥1,000
	フィッシュフライ&大阪もんピクルスサンド 自家製タルタルソース	¥780
	スモークサーモン&アボガドクリームサンド	¥980
	クロックムッシュ(ローストハム&チーズ&ホワイトソース)	¥880
	クロックマダム(ローストハム&チーズ&ホワイトソース&フライドエッグ)	¥980
	オニオングラタンスープ	¥780
スイーツ	1日限定10個 幸せの桜プリン	¥550
	季節果実のタルト 桜アイス添え	¥650
	焼き菓子の盛り合わせ	¥500
	濃厚なチーズケーキ フレッシュ苺のソース	¥750
ドリンク	コーヒー、カフェラテ、桜ラテ、紅茶など	¥420～

## カフェ・レストラン運営の概要

店名	旧桜宮公会堂
開業日	2013年4月15日(月) ※初婚礼は4月6日(土)
営業日	平日 ※水曜日定休
営業時間	11:00～17:00 ※ラストオーダー/食事:16:00、ドリンク:16:30
席数	120席
住所/電話	〒530-0042 大阪府大阪市北区天満橋1-1-1 / 06-6881-3330
交通	JR 東西線 大阪天満宮駅1番出口 徒歩9分、JR 大阪環状線 桜ノ宮駅西口 徒歩9分 地下鉄堺筋線・谷町線 南森町駅3番出口 徒歩10分

## 再生後の旧桜宮公会堂について

当社は大阪市が所有する北区の旧桜宮公会堂を借り受け、婚礼施設兼カフェ・レストランに再生し、「旧桜宮公会堂」として開業します。

旧桜宮公会堂は1935年に明治天皇記念館として建設され、現在は閉鎖中の、大阪を代表する洋風建築です。日本の昭和初期の貴重な洋館の一つでもあり、建造物として重要な位置づけを担っています。

国の重要文化財で、大阪府最古の洋風の正面玄関は、1870年に建設された造幣寮(現造幣局)のものを移築しており、ローマ神殿風の重厚な石造りが特徴です。

当社は、こうした歴史的建築物の構造全体を残し、建物内を当時の様式美を活かしながらリノベーション(改装)します。



上)旧桜宮公会堂の正面玄関

下)泉布観もある6000㎡の敷地内全体を一般開放



一階に着席で 120 人を収容する披露宴会場(217 m<sup>2</sup>)を設け、二階に着席 80 人のチャペル様式の挙式スペース(97 m<sup>2</sup>)と列席者の待合室(134 m<sup>2</sup>)、新郎新婦の控え室(49 m<sup>2</sup>)をつくります。

土日祝日を昼夜各 1 組限定の婚礼施設として、平日は披露宴会場をカフェ・レストランとして運営します。料理は大阪野菜など地場食材を使用したフランス料理を提供します。

建物の改装と周辺の整備に約 4 億円を投じ、2012 年 10 月から工事を開始しています。施設の設計および施工は榊竹中工務店です。当社はこの桜宮公会堂の運営で、年間 160 組の披露宴を手掛け売上高約 6 億円を目指します。組単価は 300 万～350 万円を想定しています。



披露宴会場は、現在は覆い隠されたままになっている、美しい古典様式の装飾天井を復活させ、建築当時の荘厳な空間に

## 旧桜宮公会堂の歴史とデザインの特徴

### — 歴史 —

旧桜宮公会堂は 1935 年に明治天皇記念館として建設された、鉄骨鉄筋コンクリート造地下 1 階地上 3 階建て、延べ床面積約 1000 m<sup>2</sup>の建築物です。造幣局の北側、桜之宮公園の泉布観地区にあり、正面玄関部分は泉布観と並ぶ大阪府最古の洋風建築です。

国の重要文化財(1956 年指定)である正面玄関は、1870 年に建設された造幣寮(現造幣局)の金銀貨幣鑄造所のものを移築しており、建物全体は同鑄造所の当時の様子に復元されました。

造幣局の工場建築で最も美しいと評されたこの正面玄関は、老朽化による昭和初期の鑄造所の取り壊しの際に保存され、明治天皇記念館の建設時に正面玄関に取り付けられました。

以降、明治天皇記念館から聖徳館に改称し、戦後 1948 年に桜宮公会堂となりました。

1950 年には 2 階部分に大阪市立図書館(桜宮図書館)が移転しましたが、1980 年には図書館はなくなり、かわりに 1985 年から学校教育の振興施設ユースアートギャラリーとして主に児童・生徒の絵画展が行われていました。

大阪市民に広く愛されてきましたが 2007 年 3 月に閉鎖、現在は利用されていません。

### — デザインの特徴 —

正面玄関部分の設計は明治政府初期の外国人技師、トーマス・ウォートルスです。

青竜山石を使った玄関ポーチの 6 本の列柱(桁行約 2.85m、梁間約 15m)が美しく、その建築様式はローマ時代のトスカーナ式です。屋根は銅板で葺いた三角形の切妻造(きりづまづくり)で、屋根と柱を支える軒蛇腹(のきじゃばら)も特徴的です。玄関戸の両脇には、円形状(アーチ型)の窓が配されており、石造りの柱とともに、優美で力強い建築美をつくりあげています。



## ノバレーゼの歴史的建築物の婚礼施設再生事例について

ノバレーゼは、既存建物のリノベーションを7件手掛けており、中でも歴史的建築物を婚礼施設へ再生する案件が6件(今後の開業案件含む)と多く、婚礼再生のリーディングカンパニーです。

### [1] ザ ロイヤル ダイナスティ(埼玉県/2004年)

創業38年の老舗式場「出雲会館」を、神殿や風格のある建築を残しゲストハウスにリノベーション。

### [2] 芦屋モノリス(兵庫県/2005年)

1929年に電報電話局として建築された洋館「旧逓信省芦屋別館」を再生。当時の趣ある外観をそのまま残し、設備を一新。新たに水に浮かぶように造られたチャペルを新設。

### [3] 三瀧荘(広島県/2009年)

各国要人の宿泊先としてや、将棋の棋王戦や囲碁の碁聖戦の舞台として、国内外の方々に愛された木造建築である、1946年開業の料亭旅館「三瀧荘」を再生。現存する建物や庭を活かしながら宴会座敷をチャペルにするなど“ジャパニーズ・モダン”をテーマに改装。

### [4] 姫路モノリス(兵庫県/2009年)

1930年に建設の昭和初期の歴史的建造物「旧逓信省姫路電信局」を再生。ジョージアンスタイル建築のように縦線を強調したクラシカルな雰囲気をもつ景観重要建築物本体を美しく魅せるため、新築のチャペルやインテリアに、伝統的な折り紙をコンセプトとした斜めのラインを主張したモチーフを取り入れ改装。



### [5] 旧ジェームス邸(兵庫県/2012年12月8日)

1934年建設の神戸を代表する歴史的洋館で、三洋電機創業者の自邸であった「旧ジェームス邸」を再生。歴史的建築美を生かしながら、地上階はレストランや婚礼の待合室として利用し、地下のレンガ積みのバーもそのまま活用、建物を邪魔しない控えめな披露宴会場とチャペルを敷地内に新設。



### [6] 旧桜宮公会堂(大阪府/2013年4月15日)

1935年に明治天皇記念館として建設された国の重要文化財「旧桜宮公会堂」を大阪市から借り受け婚礼施設兼カフェ・レストランとして再生。日本で最も早い時期の洋館の一つで、ローマ神殿風の重厚な石造りが特徴の建物外観をそのまま残し、建物内を当時の様式美を活かしながら改装。



### [7] 辻家庭園(石川県/2013年秋予定)

大正初期作庭で、金沢市指定文化財の県屈指の近代庭園「辻家庭園」を婚礼施設兼カフェとして再生。近代日本庭園の先駆者、七代目小川治兵衛(植治)設計の庭と国登録有形文化財の母屋などの外観を残し内装を改装。チャペルと披露宴会場は庭園内に新設。



## 会社概要

- 【社名】株式会社ノバレーゼ[英文社名]NOVARESE, Inc.[証券コード]東証一部(2128)  
 【住所】〒104-0061 東京都中央区銀座一丁目8番14号 銀座 YOMIKO ビル 4F  
 【電話】03-5524-1122(代) 【設立】2000年11月1日  
 【資本金】608,825千円(2012年12月末現在) 【代表者】代表取締役社長 浅田剛治  
 【従業員数】1,038人(パート・アルバイト含む)(2012年6月末日)  
 【売上高】2012年12月期 117億5,349万円(連結)  
 【事業内容】ブライダル事業(婚礼プロデュース部門、婚礼衣裳部門、レストラン部門)、レストラン特化型事業

## 事業内容

### ■ 婚礼衣裳事業

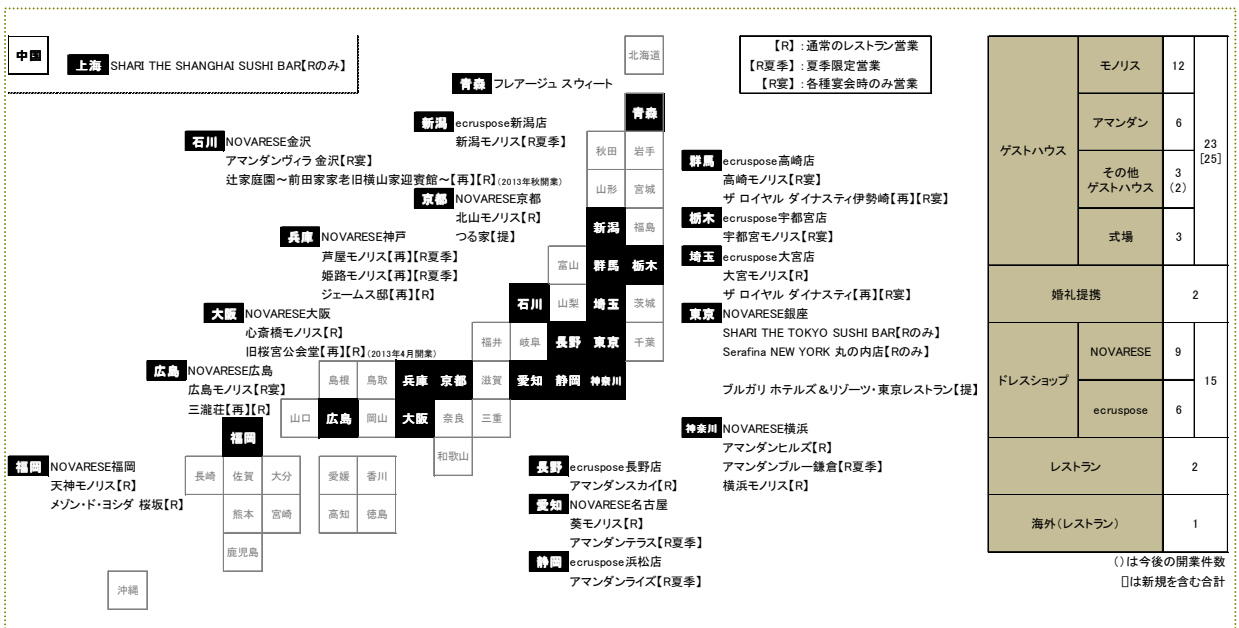
NOVARESE	取扱うドレスをイタリアブランドに特化し、洗練されたデザインの高品質なドレスを多様な品揃えで展開
ecruspose	シンプルで洗練されたデザインを打ち出す「NOVARESE」とは異なり、華やかでキュートなデザインのドレスを展開

### ■ 婚礼プロデュース事業

モノリスタイプ	都市の中心地や閑静な住宅街など利便性の良い地域を対象に、洗練された都会的イメージと、高級感を演出するシンプルでスタイリッシュな内外装や空間建築を特徴とする施設
アマンダンタイプ	都市郊外で自然の景観に恵まれた地域を対象に、くつろぎと開放感のある高級リゾート感のあるウエディングを演出する、自然を活かした郊外型建築を特徴とする施設
再生施設	歴史的・文化的価値があり利便性の良い高付加価値建造物や、旧来型のホテル・専門式場を当社の開発・運営手法を投入し、蘇らせた施設(下記【再】)
フルージュタイプ	平均婚礼費用を上記3タイプより4割程度抑えた新ブランド。2011年3月に青森県に1号店を開業。既存の式場・ホテル・ゲストハウスを改装する再生物件に特化した施設
業務提携	レストランや料亭との提携施設で挙式・披露宴やパーティの受託運営(下記【提】)

### ■ レストラン事業

レストラン事業	挙式・披露宴施設において、披露宴の婚礼飲食や宴会飲食ならびに通常の一般飲食(ランチ・ディナー)を行うレストラン事業を運営(下記【R】)
---------	---



## 本件に関するお問い合わせ先

(株)ノバレーゼ 広報担当:野原 TEL: 03-5524-1199 FAX: 03-5524-1133  
 E-mail: nohara@novarese.co.jp